

第2回移動運用報告

月日 10月22日 場所 柏市泉JCC#1217

担当 JH1GEN 高間治基

緯度、経度、QTHは知らされているものの、住所表示が判らない目的地。最近、柏市に編入合併した旧沼南町のとある丘の上(工事中)にベースを勝手に決めて開局運用していました。

興が乗ってきたところで珍客到来、、、といってもなんと地主さんであった。

担当幹事は、その辺は非常に鷹揚に出来ているので、にこやかに対応して目的を果たしてしまいました。

参加局 JK1TUJ, JA1VRZ, JG1DVY, 7L3UQW, JS1IWA, 7L4JUO, JH1GEN

お昼は、畑のど真ん中にある名物田舎すし屋に案内されて、特製のランチ寿司をいただき、満腹状態になりました。

次なるは、白井の湯で裸のお付き合い。本物の温泉に人工的に炭酸ガスを溶け込ませた、けったいな風呂であります。担当幹事さんはいったってお気に入りの様子でした。従来のスタイルから大きく逸脱した移動運用のせい、皆さんお疲れの様子で帰宅。QSLは各局からビューローへ送られたようです。



第2回技術講習会報告

月日 11月26日 場所 飯山満公民館 担当 JJ1GRK 高木誠利

内容 ウィーンブリッジ式周波数可変発振器の製作(上級者向け)

結果ですが、聞かないで下さい...と言いたい処ですが、講師である私以外だれも時間内に完成しませんでした。

難しくて時間を取られそうなボリューム周りを事前に配線しておいたのですが、まだまだ時間の読みが甘かったようで、文字通り、申し訳のしようが無い話で恐縮です。

キットを組み立てて終わり、とか、言われたとおりにプリント基板に半田付けすれば完成、といった形でない製作会を目指していたのです

がユニバーサル基板を利用しての工作は少々大変だった様です。

本クラブは基本的に地域のクラブであり技術指向のクラブでは無いためいろいろな技量の方がいらっしゃいますから、どのぐらいの物を想定するのが難しいのですが、この点では今回はひとつの参考になりました。

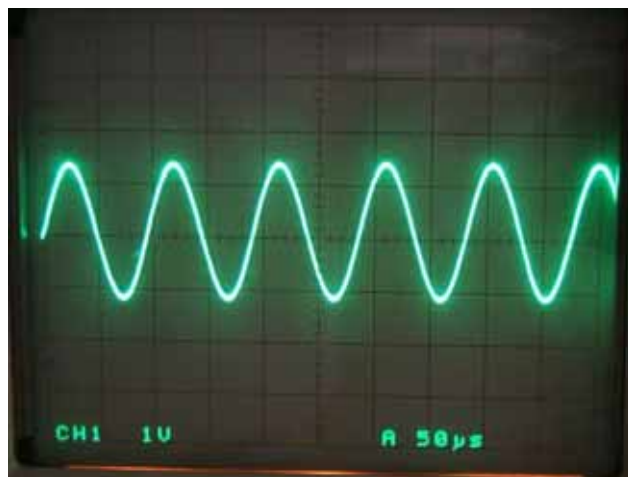
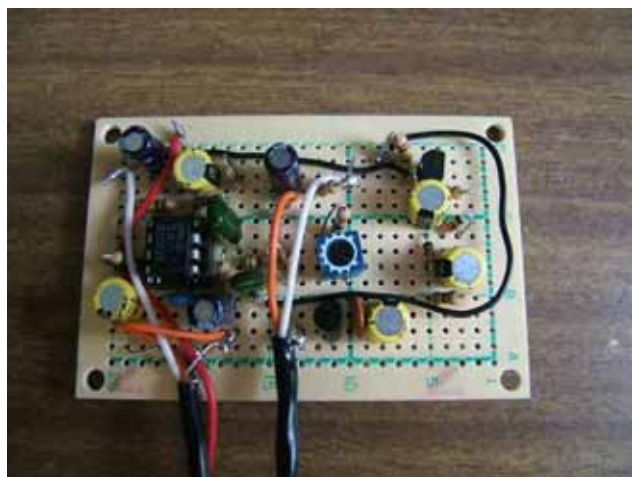
さて、当日一番の収穫ですが、なんとと言っても普段見られない皆さんの真面顔を見ることが出来たという事に尽きるでしょう。いや、もちろん、

いつもは無線だから見る事ができないだけです、、

参加局 JA6AZE, JA1QC, JK1TUJ, JL1GYB, JO1GLR, JS1IWA
7L3UQW, JA2LGY, 7L1TTH(見学), JJ1GRK

製作物のスペックは以下の通りです。

出力：正弦波 歪率：1%弱 出力：1VrmsMAX 周波数範囲：300Hz～10kHz



*写真提供 (上) JJ1GRK 高木氏 (下) 7L1TTH 島村氏

事務局からのお知らせ

局免許の更新情報についてはニュースでお知らせすることにしてあります。ここ半年以内に無線局免許の有効期限が切れる局は、次の通りですから忘れないで手続きをお願いします。

JN1XAB, JH1AMH, 7K2RMG, JG1DVY, JA1WLO, JN1AVG,

局免許を更新された際は、新免許状の写しを事務局宛てに必ず送付下さい。

写しの到着をもって更新の確認としています。写しを未提出の局は、次の局ですから至急送付願います。

JE1VCP, JA1WLO, JO1CIU, 7N1TCU, 7K2CWU, JF6FET

事務局 防災課 工藤

超不定期連載!?

プロの電信オペレーティング技術

プロ無線とアマ無線、オペレーティング技術はどちらが上だと思いますか？。

好きこそ物の上手なれということわざがある通り、趣味でやっているアマチュア無線のほうが上という考え方が一般的ですが、実際の処は比較が難しいぐらい、オペレートが違ってきます。

もう、短波通信に電信が必須でなくなって10年ぐらいになりますが、ここでお話するのは昔の電信の技術です。今回はそのうちの短波での電文受け渡し部分をお話します。

まず、電報を持つ方（以後送信側）が電文を打ち始めます。HR HR。ここで、...

（ホレ）が来たら和文電報です。受信側は縦書きの専用紙を用意します。...（BT）が来たら欧文です。横書きの紙を用意する場合がありますが、大抵の場合、タイプライターで受信します。通信卓では左横を向くとそこには必ずタイプライターがありますが、これは大文字だけしか無い、特殊なタイプです。

時間、あて先は平文で、局内取り扱い（至急電報＝ウナ は有名ですよ）、心得なんかは略号で来ます。で、また本文符号が来たらそこからが本文です。ここまでは皆さんも予想の通りだと思いますが、もし本文中で受信側が受け損なったらどうすると思いますか？

実は業務通信では不明確な文字は受信・筆記してはならないという不文律があります。

CWの国家試験で空白の方が誤りよりも減点が少ないのもこのルールに則ったものなのですが、とにかく、受け損なったらすぐに受信側はキーを押して電波を発射します。全部終わってしまったからだと場所を教えるのが大変ですから、これはすぐに。また、タイプライターが左側にあるのは、いつでも右手でキーを押せるようにする為の工夫です。

送信側はフルブレイクイン（送信中も符号の間で受信をしている）なので、この電波にすぐに気が付きます。で、送信を休止。すると受信側が正しく取れた文字を3文字ぐらい前から送り、わからない文字の手前で送信をやめます。

一方送信側はそれに合わせて次の文字から再送します。何度も繰り返される作業なのでまどろっこしいやりとりはしません。「受信できた部分を送ってあとは続きを待つ」というルールは通信中いつでも有効で、たとえば呼び出された側がDEだけ送れば、呼び出した側はそれに続けて自局コールサインを送ります。

アマ無線では[QRZ?][DE JJ1YNA]というやりとりがプロ無線で[DE][JJ1YNA]となり、所要時間は激減するわけですが、DEを送る局がプロとアマでは違う事に注意して下さい。電報を送り終わったら、送信側はQSL?と聞いてきます。受信側からQSLと返せば、電文は受信側に確実に伝わったことになり、送信側の仕事は料金清算だけになります。1文字1文字が大事な電報通信ですから、1通ごとに必ず確認します。

電波法無線通信規則にもあるようにQSLの原意は受信証ですが、実はこの受信証、電報で送られるのが正しい姿だったのでした。この後、送信側がQTC2と打ってきたら、まだ電報が2通残っています。受信紙を用意しましょう。紙が無いときは...（AS）を打って待ってもらいます。準備が出来たらK、一文字を送れば送信を再開してくれます。

アマチュア無線では、通信文を打った後で受信しますの意味に使われますが、本来はこんな

ときに相手局に送信を促す符号として使われました。(海岸局が間隔を空けてKを打つのも同じ意味で、いつでも受信中という意味)NIL?と打ってきたら受信側がNIL。あとは・・・(短点2つ)で通信は終了します。

ちなみにNILというのは、送信すべき電文がありません。という意味です。符号が長いQRUも、byと間違えやすいbyeも使いません。昔は非常に多くの電報が飛び交っていましたから、通信に無駄があっては大変です。25文字100円の料金で通信していたのですから、オペレーター間の挨拶なんてもってのほかなのです。これでは寂しいので仲間内では本文や略号と間違えにくい数字コードを使って挨拶をしていたようです。

有名なのは北米の有線電信網で使われた73で、最終的にはアマチュア無線に残りました。ちなみに女性向は33でしたが、これは・・・- (VA、本文終了)と紛らわしいので、ちょうど符号が逆になる88に切り替わっています。同様のものに電話方式の10-4(テンフォー、了解)、10-10(テンテン、通信終了。餃子屋ではない)があります。余計な挨拶が無くなるのでこれも意外と通信が短くなりますが、今は海外のCBにその名残が残るだけです。

ちなみに世界中で通じる略号はLIDです。これを和文で送るときは「ヘボカワレ」となりますが、意味はわかりますよね。返事は世界共通でSRY UP(すみません、アップ(見習)です)、これも又、簡潔になっています。

続く(と、思う) de JJ1GRK

インフォメーション

新年号発行 毎回、年末にお届けしていましたが、無理に急ぐ必要もないので、あえて時期を調整してトップに会長さんの挨拶を載せました。次回は、総会前号として発行する予定です。

JJ1GRKさんの記事 高木さんへお願いして、雑談記事を執筆して頂きました。内容はどうか?反響が良ければ、このようなスポット記事をたまには載せることにしています。

編集後記：師走の都内の夜はライトアップで見所はたくさんあります。私も、六本木ヒルズの夜景撮影に出かけました。当然ですが、説田さんの宇宙メダカの池も撮影してきました。

撮影のポイントは、カメラ任せよりマニュアルで撮影条件をいろいろ変えて撮ってみるのがおもしろいです。ちなみに、ISO感度は50、絞りはF8に固定します。理由は、感度を上げるとノイズが増えて解像度が落ちるからです。したがって、三脚は当然必須アイテムです。

あとは、適正露出からを少しずつ時間を変えていくと、周りの明るさが変わる様子が良く分かります。人間の目と、カメラの目を比べると、夜景はカメラの目のほうが綺麗に見えるようです。フィルムカメラでも撮影しているので、どっちが綺麗か出来上がりが楽しみです。

編集発行 船橋市アマチュア無線非常通信連絡会 船橋市アマチュア無線クラブ JS1IWA

受信通過番号 ○

○ 送信通過番号

| 照合者 | | 送信 午 時 分 | | 受付 午 時 分 | | 番号 一 五 | | 発信局 マツガ オカ | | 字数 キ の 33 | | 種類 | | | |
|-------------------|--|-------------------|--|-------------------|---|--------------|----------|------------------|---------------|---------------------------------|-------------------|------------|--|-----|--|
| 受信 午 時 分 | | | | ン | ワ | ニ | 指定 | マツガ オカ | フナバシ シヤクシヨ | ミナト チヨウ ニノ ー 〇 ル | チバケ ンフナ バシシ | 着信局 | | | |
| | | | | ナ | ニ | ワ | | | | | | フナバシ ホシ | | | |
| | | | | デ | ワ | ト | | | | | | ンチヨウ | | | |
| | | | | ヨ | ニ | リ | | | | | | | | | |
| | | | | ン | ワ | ガ | | | | | | | | | |
| | | | | ワ | ニ | ウ | 局内 心得 | | | | | 備考 | | 回線名 | |
| | | | | レ | ワ | ラ | | | | | | | | | |
| | | | | タ | ニ | ニ | | | | | | | | | |
| | | | | カ | ワ | ワ | | | | | | | | | |
| | | | | キ | ミ | ニ | | | | | | | | | |
| 受信者 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 照合者 | | | | | | | | | | | | | | | |